

逐條土地收用法資料(一九)

高 坂 孝 三

三、借地關係ト本條

(一) (行裁 大正九年第二二四號
同十一年二月二十二日宣告)

(要旨) 都市附近ニ於テハ土地賃借權ハ相當ノ價格ヲ有スルヲ常トスルカ故ニ賃借權ヲ喪失スル賃借人ハ之カ爲メ損失ヲ受クルヲ常トス而モ右土地賃借權消滅ノ損失ハ地上物件移轉ノ損失トハ別種ノモノナルカ故ニ收用審査會ハ地上物件移轉料ノ外別ニ右損失ニ對シ補償ノ裁決ヲ爲スヘキモノトス

(判決理由) 本件收用地上ニ存スル賃借權消滅ノ損失ヲ補償スヘシトスル原告ノ請求ニ對シ被告ハ本件賃借權ハ地上ニ建物アリテ之ニ伴フ附加物ニ過キス該地上物件ヲ撤去センカ賃借權ハ

其ノ用ヲ爲スモノニ非ス從テ地上物件ニ對シ相當移轉料ヲ補償スル以上賃借權ノ損失ハ計上スヘキ金額ナキニ歸スルヲ以テ之ニ對シ補償ヲ要セサルハ勿論此ノ點ハ補償金額ニ付テノ争ニシテ之ニ關スル訴ハ通常裁判所ノ管轄ニ屬スヘキモノナリト主張スルモ都市附近ニ於テハ土地賃借權ハ相當ノ價格ヲ有スルヲ常トス而モ右損失ハ地上物件移轉ノ損失トハ別種ノモノナルカ故ニ被告ハ地上物件移轉料ノ外別ニ右損失ニ對シ補償ノ裁決ヲ爲スヘキモノトス然ルニ被告カ賃借權消滅ニ關スル損失補償ノ請求ヲ排斥シタルハ失當ニシテ此ノ點ニ關スル被告ノ裁決ハ取消スヘキモノトス而シテ被告カ地上物件ノ移轉料ヲ補償スル以上賃借權消滅ニ因ル計上スヘキ損失金額ナシト裁決シタルハ畢竟前示ノ損失ヲ補償原因トシテ認メサルモノニ外ナラス從テ此ノ點ニ付テノ訴ハ單ニ補償金額ニ關スルモノニアラサルカ故ニ訴ヲ不適法ナリトスル被告ノ抗辯ハ理由ナシ

(二) (行裁) 大正十二年第一七二號
昭和二年六月二十二日宣告

(要旨) 土地ノ收用ニ因リ借地權消滅セル場合ニハ其ノ借地料方附近ノ借地料ニ比シ相當ニシテ他ニ代地ヲ求メ得ルトスルモ借地權者ニ通常受クヘキ損失ナシト云フヘカラス

(判決理由) 原告會社ハ九十五番地ノ一及二並九十四番地ノ二全部ニ對スル借地權收用補償ヲ請求スルニ付之ヲ案スルニ本件ノ如ク借地權ノ目的タル土地ヲ收用シタル場合ハ土地收用法第六十三條第一項ニ依リ收用部分ニ對スル借地權ハ消滅ニ歸スヘキモノトス而シテ被告主張ノ如ク本件借地料カ何レモ附近ノ借地料ニ比シ相當ニシテ他ニ代地ヲ求メ得ルトスルモ苟モ財產權タル借地權カ消滅スル以上之ニ因リテ原告會社ハ通常受クヘキ損失ナシト云フヘカラスヤ明白ナルヲ以テ右消滅ニ歸シタル借地權ニ付テハ原告會社ニ對シ相當ノ補償ヲ與フヘキモノトス

(三) (五二議) 昭和二年三月十二日
衆議院特別委員會

(要旨) 土地ヲ收用シタル場合借地權消滅ニ因ル損失ハ土地收用法第五十四條ニ所謂通常受クヘキ損失トシテ補償セラルヘキモノトス

(問) 土地法ニ於テ定メラレテ居リマス年限中例ヘバ木造家屋デアルナラバ二十年或ハモツト堅牢ナルモノデアルナラバ二十年、今日ノ民法カラハ其レヲ延長シテ六十年迄モ其ノ地上權ヲ認メル事ニ成ツテ居ルノデアリマスカラ、若シ茲ニ或人ガ：

新シイ家ヲ建テタトシマス、其レガ三年ノ後已ムヲ得ザル事情デ土地收用法ニ依ツテ收用サレル事ニ成ツタ噫ニ未ダ地主ニ對シテハ十七年間ノ權利ヲ持ツテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ權利ハ收用法デ認メラレタ國ノ必要ナ道路ヲ造ラナケレバナラストカ或ハ何か公共ノ爲ニ其レヲ收用サレル斯ウ云フ場合ハ年限ハ何ウ云フ風ナ計算デ家ノ價値ヲ御定メニナルカ是モ何ツテ置キ度イト思ヒマス

(政府委員答) 長期間ノ借地權、是ガ未ダ其ノ年限ニ到達セヌ前ニ收用サレタ場合ニ於キマシテ其ノ殘期間ノ借地權ヲ如何スルカト云フ御問デアアル様デアリマスガ是モ矢張り第五十四條ノ所謂損失ト云フ中ニ網羅含蓄セラレテ補償セラレルコトニ相成ルノデアリマス

(四) (行裁) 大正十二年第一七二號
昭和二年六月二十二日宣告

(要旨) 土地收用ニ因リ借地權ノ一部消滅シタル場合之ニ因リ殘存借地權ノ價格ヲ減シ其ノ他殘存借地權ニ關シ損失

ヲ生シタルコトヲ認ムヘキ證左ナキトキハ右殘存借地權ニ對シテハ補償ノ要ナキモノトス

(判決理由) 本件ノ如ク借地權ノ目的タル土地ヲ收用シタル場合ハ土地收用法第六十三條第一項ニ依リ收用部分ニ對スル借地權ハ消滅ニ歸スヘキモノトス而シテ被告主張ノ如ク本件借地料カ何レモ附近ノ借地料ニ比シ相當ニシテ他ニ代地ヲ求メ得ルトスルモ苟モ財産權タル借地權カ消滅スル以上之ニ因リテ原告會社ハ通常受クヘキ損失ナシト云フヘカラサルヤ明白ナルヲ以テ右消滅ニ歸シタル借地權ニ付テハ原告會社ニ對シ相當ノ補償ヲ與フヘキモノトス然レトモ收用部分以外ノ土地ニ對スル借地權ニ至リテハ本件收用ノ爲ニ消滅セス而モ前記借地權ノ一部消滅ニ因リ右殘存借地權ノ價格ヲ減シ其ノ他右殘存借地權ニ關シ損失ヲ生シタルコトヲ認ムヘキ證左ナキヲ以テ右殘存借地權ニ對シテハ補償ノ要ナキモノトス

四、借家關係ト本條

(一) (行裁 昭和五年第六三號
同七年四月二日宣告)

(要旨) 建物ヲ全部移轉スルコトヲ要スルモノナル以上其ノ移轉工事ノ期間中居住者カ臨時ニ他ニ借家スルニ因リテ

法 令

生スヘキ費用ハ土地收用法第五十四條ニ所謂土地ヲ收用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ外ナラス

(判決理由) 本件收用地域内ニ存在スル部分ト殘地ニ存在スル其ノ餘ノ部分トハ不可分ノ一體ヲ爲シ得ル建物ト認ムルヲ相當トス從テ本件收用ニ因リテ收用地域内ニ存在スル部分ノ移轉ヲ必要トスル結果ハ土地收用法第五十一條ニ所謂物件ノ分割ヲ來シ其ノ全部ヲ移轉スルニ非サレハ從來用キタル目的ニ供スルコト能ハサルトキニ該當スルヲ以テ本件收用地ノ屬スル地番内ニ存在スル建物ノ内土藏二棟ヲ除キタル其ノ餘ノ建物ノ全部並燈籠鉢前庭石樹木井戸給水設備並排水設備ハ之ヲ移轉スルヲ要シ原告ハ之カ全部ノ移轉料ヲ補償スルヲ要スルモノト云ハサルヘカラス(中略)前段説明スル所ノ如ク本件收用地ノ屬スル宅地内ノ建物ノ内土藏二棟ヲ除ク其ノ餘ノ建物ヲ全部移轉スルコトヲ要スルモノナル以上其ノ移轉工事ノ期間中居住者カ臨時ニ他ニ借家スルニ因リテ生スヘキ費用ハ土地收用法第五十四條ニ所謂土地ヲ收用スルニ因リテ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ外ナラサルヲ以テ起業者ニ於テ之カ補償ヲ爲スヘキモノニシテ被告カ右補償ノ裁決ヲ爲シタルハ相當ナリ

(二) (行裁 大正三年第六二號) 同四年七月二十八日宣告

(要旨) 收用地上ノ家屋ノ移轉完了ニ至ル迄貸家ノ目的ニ供スルコト能ハサル結果賃貸料ヲ收得シ得サル損失ハ通常受クヘキ損失ニ該當ス

(判決理由) 收用地上ノ物件タルイ號建家ヲ移轉スルニ付其ノ移轉完了迄家賃ヲ收益シ得サル損失ニ付テハ該家屋カ貸家建ニシテ賃貸料ノ收益ヲ目的トスルモノナルコトハ當事者間ニ爭ナク而シテ其ノ移轉完了ニ至ル迄ハ貸家ノ目的ニ供スルコト能ハス從テ其ノ當然ノ結果トシテ家賃ノ收益ヲ爲スコト能ハサルハ明ナルヲ以テ斯ノ如キハ其ノ物件從來ノ用法上ヨリ觀テ土地收用法第五十四條ニ所謂土地ヲ收用スルニ因リ土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ該當ス

(三) (行裁 大正十四年第九九號) 昭和二年七月十四日宣告

(要旨) 土地ノ收用ニ因リ家屋ノ賃貸借契約カ消滅スル場合家屋ノ賃貸人ハ借家人ニ對シ其ノ移轉料ヲ支拂フヘキ法律上ノ義務ナキヲ以テ賃貸人カ之ヲ支拂フ旨ノ契約ヲ爲シタリトスルモ土地收用法上之ヲ收用ニ因リ通常受クヘキ損

失ナリト云フコトヲ得ス

(判決理由) 原告ハ又實際上ヨリ云一ハ造作買取ノ義務ノ有無ニ拘ラス家屋ノ賃貸人ハ賃借人ニ對シ相當ナル補償ヲ爲スニ非サレハ家屋ノ明渡ヲ實行セシムルコト能ハス且其ノ補償額ハ移轉ニ因リテ生スヘキ損害ヲ標準ト爲スコトハ世間一般ノ事例ナルヲ以テ原告ハ收用ニ基ク家屋移轉ノ義務ヲ履行スル必要上借家人ヲ立退カシムル爲相當ノ金額ヲ支拂フコトハ已ムヲ得サル所ニシテ該金額ハ土地收用法上所謂通常受クヘキ損失ナルカ故ニ原告カ借家人櫻井福太郎ニ對シ移轉料ヲ支拂フヘキ旨契約シタルハ相當ニシテ其ノ補償ヲ起業者ヨリ受クヘキモノナリト云フモ土地ノ收用ニ因リ家屋ノ賃貸借契約カ消滅スル場合ニ賃貸人ハ賃借人ニ對シ移轉料ヲ支拂フヘキ法律上ノ義務ナキヲ以テ賃貸人カ假ニ之ヲ支拂フ旨ノ契約ヲ爲シタリトスルモ土地收用法上之ヲ收用ニ因リ通常受クヘキ損失ナリト云フコトヲ得ス依テ此ノ點ニ關スル原告ノ主張ハ理由ナシ

(四) (行裁 大正十四年第九九號) 昭和二年七月十四日宣告

(要旨) 借家法第五條ニ基キ家主カ造作ヲ買取ルモ相當ノ財物ヲ取得スルカ故ニ之カ爲土地收用法上買取代金ヲ損失スルモノト云フヲ得ス

(判決理由) 原告ハ借家人櫻井福太郎ニ對シ借家法第五條ニ依リ造作買取ノ義務アリ而シテ同法ニ所謂造作トハ單ニ第三者ニ賣却スヘキ物件ヲ指スモノニ非スシテ場所營業ノ種類ニ依リ世間ニ於テ通常造作ノ言葉ニ包含スル一切ノ權利ニシテ廣義ニ於テハ借家人ノ移轉料ヲモ含ムモノナルカ故ニ原告カ同人ニ對シ移轉料ヲ支拂フヘキ旨約シタルハ相當ニシテ該移轉料ハ收用ニ因リ通常受クヘキ損失ナリト云フモ借家法第五條ニ所謂造作トハ借家人カ家主ノ承諾ヲ得テ附加シタル疊建具其ノ他ノ有形の設備ニ限ルヘキモノニシテ原告主張ノ如ク借家人ノ移轉料ヲ包含スルモノニ非ス又其ノ買取價格ハ時價ニ依ルヘキモノナルカ故ニ家主ヘ之ヲ買取ルモ相當ノ財物ヲ取得スルモノニシテ之カ爲買取代金ヲ損失スルモノト云フコトヲ得サルニ依リ原告ノ主張ハ理由ナシ

(五) (行裁 昭和九年第三三六號
同十二年五月六日宣告)

(要旨) 事業認定以前ニ於テ起業者ト借家人トノ間ニ立退ノ協議カ成立シ且立退カ實行セラレタルトキ關係人カ借家人ノ立退ニ因リ損失ヲ蒙リタリトスルモ之ヲ土地收用ニ因ルモノト爲スヲ得ス

(判決理由) 原告庄次郎ハ其ノ所有ニ係ル地上物件タル家屋ヲ賃貸セル起業者ト借家人佐々木某及吉澤某トノ間ニハ昭和八年九月十日同齋藤某トノ間ニハ同月二十四日立退ノ協議調ヒ右借家人ハ即日立退キタルヲ以テ原告ハ其ノ立退ノ日ノ翌日ヨリ收用ノ時期ニ至ル迄ノ右家賃ニ相當スル額ノ損失ヲ蒙リタルニ拘ラス被告カ其ノ補償ノ裁決ヲ爲ササルハ違法ナル旨主張スルモ本件裁決ハ前段説明ノ如ク昭和九年一月二十三日ノ事業認定ニ基キ爲サレタルモノニシテ右ノ起業者ノ借家人ニ對スル立退ノ協議ノ成立竝立退ハ未ダ事業認定ナキ以前ノ事ニ屬シ土地收用法上ノ協議ニ因リタルモノニ非サルヲ以テ右家賃ニ相當スル額ヲ以テ本件收用ニ因ルモノト爲スヲ得サルカ故ニ此ノ點ニ關スル原告ノ主張モ亦採用スルヲ得ス

五、増額補償金ニ對スル法定利息ト通常受ク

ヘキ損失

(大審 大正三年(オ)第一八六號
同 四年七月十二日言渡)

(要旨) 土地收用補償金額ニ付キ收用審査會ノ裁決ニ服セス通常裁判所ニ出訴シタル者ハ其訴訟ニ於テ起業者ニ對シ收用土地ノ收用時期ニ於ケル相當價格ニ達スル迄ノ増額ヲ

請求スルコトヲ得然シテ此ノ増額ニ對スル收用ノ時期ヨリ増額拂渡ノ日迄ノ法定利率ニ相當スル額ハ即チ土地所有者カ收用ニ因リ通常受クヘキ損失ニ外ナラス

(判決理由) 按スルニ土地收用法ニ依リ收用セラレタル土地ノ所有者カ起業者ニ對シ損失ノ補償ヲ請求スルニハ一ニ同法ノ規定スル所ニ從ハサルヘカラサルハ固ヨリ論ヲ俟タス而シテ同法ノ規定スル所ニ依レハ土地收用ノ補償金額ニ付關係者間協議調ハサルトキハ先以テ收用審査會ノ裁決ヲ受ケ其裁決ニ對シ不服アルトキ初メテ一定ノ期間内ニ通常裁判所ニ出訴シテ救済ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス而シテ收用セラレタル土地ノ所有者カ右裁決ニ服セスシテ通常裁判所ニ出訴シタル場合ハ其訴訟ニ於テ起業者ニ對シ收用土地ノ收用時期ニ於ケル相當ノ價格ニ達スル迄ノ増額ヲ請求スルコトヲ得ルニ止マラス此増額ニ對スル收用ノ時期ヨリ増額拂渡ノ日ニ至ル迄ノ法定利率(年五分)ニ相當スル金額ヲモ補償トシテ併セテ請求スルコトヲ得ヘシ何トナレハ起業者ハ收用土地ノ所有者ニ對シ其土地ノ相當ノ價格ニ依リ損失ヲ補償スルコトヲ要スルノミナラス其他土地收用ニ因リテ土地所有者カ通常受クヘキ損失ヲモ併セテ起業者ニ於テ補償スルコトヲ要スヘキハ土地收用法第四十八條及第五十四條ノ規定

ニ照シテ毫モ疑ヲ容レズ而シテ起業者ハ收用ノ時期ニ於テ土地ノ所有權ヲ取得シテ之ヲ利用スルコトヲ得ルト同時ニ土地所有者ハ其所有權ヲ喪失シテ最早之ヲ利用スルコトヲ得サルモノナレハ收用ノ時期即チ補償金ノ拂渡ヲ受クヘキ時ヨリ現ニ之カ拂渡ヲ受クル時ニ至ル迄ノ間ニ於ケル増額ニ對スル法定利率ニ相當スル金額ハ即チ土地所有者カ收用ノ爲通常受クヘキ損失ニ外ナラサルモノト看做スコトヲ得ヘキモノナレハナリ然レトモ土地所有者カ斯ノ如キ金額ノ支拂ヲ受クルコトヲ得ルハ右説明ノ如ク土地收用法第五十四條ノ規定ニ從ヒ收用ニ因リテ被ムル損失ノ補償トシテ之ヲ受クル權利アルモノニシテ民法第四百十二條ノ規定ニ從ヒ起業者ニ遲滯ノ責任アリトシテ然ルニ非サレハ土地收用法ニ從ヒ收用審査會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴訟ニ於テ之カ支拂ヲ求ムルハ格別該訴訟ノ完結後ニ於テ起業者ニ遲滯ノ責任アリト爲シ損害ノ賠償トシテ之ヲ請求スル權利ヲ有セザルモノトス然ルニ本件ハ收用審査會ノ裁決ニ對スル不服ノ訴訟ノ形式ニ依ルニ非スシテ該訴訟ノ既ニ判決ニ依リ完結シタル後起業者ハ民法ノ規定ニ依リ補償金額ノ支拂ニ付キ遲滯責任ヲ負フモノト爲シ之ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲ス訴訟ナルコトハ原判決ノ事實摘示竝ニ其引用シタル第一審判決ノ事實摘示ニ依リ明白ナレハ其理由ナキモノトシテ棄却スヘキモノトス

六、殘地内ノ物件排列變ヘノ費用ト通常受ク

ヘキ損失

(行裁 大正十四年第四八號
昭和二年四月十六日宣告)

(要旨) 鹽田ノ一部ヲ收用シタル爲メ殘地ノ鹽壺ノ排列變

ヘヲ要スルトキハ之ニ要スル費用ハ土地收用法第五十四條

ニ所謂通常受クヘキ損失ニ外ナラス

(判決理由) 原告ハ道路カ鹽田ノ中央部ヲ斜斷シ殘地ノ鹽壺全

部ノ排列變ヘヲ要スルニ因リ其ノ費用ノ補償ヲ求メタルニ被告

カ之ヲ排斥シタルハ違法ナル旨主張スルモ鑑定人橋本昇次郎ノ

鑑定書中「沼井(鹽壺)ハ作業上ノ便宜ノ爲メ其ノ附屬スル撤

布面積ヲ常ニ一定シ置クモノナルカ故ニ本鹽田ノ如ク鹽田ノ面

ニ對シ斜線ニ道路貫通スル場合ハ其ノ斜面ニ三角形ノ殘地ヲ生

スルヲ以テ相當變更處理ヲ要ス本鹽田ノ實況ヲ觀ルニ道路兩側

片臺二十箇分ハ當然變更整理(現狀ハ整理済)ヲ要スルモ全部

ノ變更ハ必要ナキモノト認ムトノ記載ニ依レハ殘地ノ鹽壺全

部ノ排列變ヘヲ要スト爲ス原告主張ハ之ヲ認ムルヲ得サルモ被

告カ移轉ヲ認メタル本件收用地内及之ニ接着スル鹽壺十三個ノ

外道路兩側片臺二十個ノ排列變ヘハ其ノ必要アルモノト認ムル

ヲ相當トス而シテ此ノ排列變ヘニ要スル費用ハ土地收用法第五
十四條ニ所謂通常受クヘキ損失ニ外ナラサルヲ以テ被告カ之ニ
對スル原告ノ補償ノ請求ヲ排斥シタルハ不當ナリ

七、物件移轉ノ方法場所ト通常受クヘキ損失

(一) (行裁 大正二年第二三七號
同七年七月二十九日宣告)

(要旨) 收用地上ノ建物ハ之ヲ他ニ移轉スルト改築シテ殘

地ニ置クトハ建物所有者ノ自由ナルヲ以テ之ヲ改築シテ殘

地ニ置キタル爲メ邸宅カ狹隘且不體裁トナリ家屋ノ賃貸價

格ヲ減少シタリトスルモ之ヲ以テ收用ニ因ル損失ナリト云

フコトヲ得ス

(判決理由) 原告ハ其ノ住家タリシ建物ニ付テハ全部ノ移轉料

ヲ受クルモ殘地ノ利用上他ニ家作ヲ移轉シ難キ事情アリ已ムヲ

得ス其ノ家作ノ一部ヲ破壊シ他ノ部分ニ附着セシメ且支關及新

築ノ室ヲ設ケタル爲邸宅狹隘トナリ住家トシテ利用ヲ殺滅セラ

レ庭園又ハ門ノ如キモ邸宅トシテノ體裁ヲ損スルニ至リ該家屋

ノ賃貸價格ヲ減少シタルハ收用ニ因リ受ケタル損失ナリト主張

スト雖建物全部ノ移轉料ヲ補償セラレタル以上ハ該建物ヲ他ニ

移轉スルト改築シテ殘地ニ置クトハ全ク原告ノ自由ニシテ收用

ニ關係ナキ所ナリ然レハ建物ヲ其ノ殘地ニ改築シタル爲邸宅カ
狹隘トナリ住家トシテ其ノ體裁ヲ損シ賃賃價格ヲ減スルコトア
リトスルモ之ヲ以テ収用ニ因リ生シタル損失ナリト云フコトヲ
得ス

(二) (行裁 大正三年第六二號
同四年七月二十八日宣告)

(要旨) 土地收用法第五十一條ノ地上物件ノ移轉ノ方法及
場所ハ其ノ所有者ノ任意ノ措置ニ過キスシテ収用審査會ノ
干與スヘキモノニ非サルヲ以テ之カ爲殘地上ノ物件ヲ順次
後方ニ引移シ且ツ其ノ縮少ヲ爲ス費用ノ如キハ地上物件ノ
移轉ニ伴ヒ當然生スルモノニ非スシテ法ノ所謂通常受クヘ
キ損失ニ非ス

(判決理由) 原告ハ土地收用法第五十一條ノ地上物件ノ移轉ト
ヘ其ノ物件ヲ原狀ノ儘移轉スル場合カ又ハ一旦之ヲ撤去スルモ
他ノ場所ニ於テ原狀ノ如ク築造シ得ル場合ヲ指スモノニシテ本
件ハ移轉ノ場所ヲ指示セザルヲ以テ原狀ノ儘後方ニ引移スコト
ヲ命シタルモノナルコト勿論ナリト主張スレトモ同法條ノ所謂
移轉トハ斯クノ如ク局限セラレタル意義ニ非スシテ汎ク收用地
上ヨリ他ニ移轉スルコトヲ指シ其ノ移轉ノ方法及場所ヘ其ノ所

有者ノ任意ノ措置ニ過キスシテ収用審査會ノ干與スヘキモノニ
非サルヲ以テ之カ爲殘地上ノ物件ヲ順次後方ニ引移シ且其ノ縮
少ヲ爲ス費用ノ如キハ地上物件ノ移轉ニ伴ヒ當然生スルモノニ
非スシテ法ノ所謂通常受クヘキ損失ニ非ス

八、事業準備ニ因ル損失ト通常受クヘキ損失

(行裁 大正二年第二三七號
同七年七月二十九日宣告)

(要旨) 土地收用法第九條ニ依リ事業準備ノ爲測量ヲ爲シ
木杭ヲ建テタル爲損失ヲ受クルコトアリトスルモ之ヲ以テ
同法第五十四條ニ所謂通常受クヘキ損失ナリト云フヲ得ス

(判決理由) 原告ハ收用地上ニ在ル建屋三棟ハ鐵道院カ其所在
地ヲ測量ヲ爲シ境界線ニ杭ヲ建テタルニ因リ從來ト同一家賃ニ
テハ容易ニ借家人ヲ得ルコトヲ得サリシヲ以テ已ムヲ得ス家賃
ヲ減額シタリ而シテ鐵道院カ工事ヲ進行シテ土盛ヲ爲シ交通不
便トナリタル爲途ニ全ク借家人ナク家賃ヲ得ルコト能ハサリシ
モノナリ斯ノ如キ損失ハ土地收用法第五十四條ニ所謂土地ヲ收
用スルニ因リ通常受クヘキ損失ニシテ起業者ハ當然之ヲ補償ス
ヘキモノナリト主張スト雖鐵道院カ收用セントスル目的ヲ以テ
測量ヲ爲シ其ノ區域ヲ明ニスル爲木杭ヲ建テタルハ收用ニ關ス

ル内閣ノ事業認定及東京府知事ノ土地細目公告前ニシテ土地收
用法第九條ニ依リ事業準備ノ爲ニ爲シタルモノナルコトハ原告
モ争ハサル所ナリ然レハ假ニ之ニ因リテ原告主張ノ如キ損失ア
リトスルモ之ヲ土地收用ニ因リテ通常受クヘキ損失ナリト云フ
コトヲ得ス

九、損失額表示ノ方法ト請求ノ原因

(行裁 大正二年第一六九號
同三年五月六日宣告)

(要旨) 土地收用ニ因リ鑛滓棄場ヲ減縮セラレタル爲メ受
クル損失ノ補償ヲ求ムルモノハ其ノ損失額ノ標準ヲ示ス趣
旨ヲ以テ鑛滓排除ノ爲メノ棧橋架設費ヲ計上スルモノ其ノ請
求ノ原因不定ナリト謂フコトヲ得ス

(判決理由) 被告及從參加人ハ原告ハ土地收用法第五十三條ニ
依リテ工作物ノ新設費ノ補償ヲ求ムルカ如シト雖又同法第五十
四條ニ依リ通常受クヘキ損失ノ補償ヲ要求スルモノノ如クニモ
解セラレ原因一定セス故ニ原因不定ノ請求トシテ棄却セラルヘ
キモノナリト主張スト雖モ原告ハ土地ノ收用ニ因リ鑛滓
棄場ヲ減縮セラレタル爲受クル損失ノ補償ヲ求ムルニ在リテ其
ノ棧橋架設ノ費用ヲ計上シタルハ鑛滓排除ノ爲特ニ講スヘキ方

法 令

法中原告及起業者ニ最モ便利ナル一方法ヲ取リテ其ノ補償スヘ
キ損失額ノ標準ヲ示スノ趣旨ニ外ナラサルコトハ原告ノ陳述ニ
徴シテ明瞭ナリ然ラハ請求ノ原因ハ一定セルモノニシテ其ノ理
由ノ説明不十分ナリトスルモ之ヲ以テ請求ノ原因カ不定ナリト
云フコトヲ得ス

